

図書室

今月のお知らせ

社会教育センター図書室

☎ 28・5449

休館

資料整理のため、9月30日(木)は、図書室をお休みします。

新刊

児童書

ぱったんして

松田 奈那子 文 (KADOKAWA)

半分に折った紙を開いて、絵の具で色をのせよう。色をのせた紙を半分に折って、ぎゅっと押さえて、やさしくなると…。紙を開いたら、どんな形ができたかな?はじめてふれるアートの絵本。



一般書

明日は結婚式

小路 幸也 著 (祥伝社)

明日に結婚式を控えた、信用金庫勤めの春香と、パン屋の息子でデザイナーの真平。一組のカップルとその家族がそれぞれ胸に秘めていたものは?結婚前夜を、当人とその家族の視点から紡ぐ物語。



一般書

サイレント 黙認

神津 凜子 著 (講談社)

華の彼氏・勝人は、本当に信用できるやつなのか。血のつながらない姉・華にほのかな恋心を寄せる星也は、親友の葉月とともに、勝人のことを調べ出すが…。見て見ぬふりの負の連鎖が忌まわしき悪夢を招くサイコ・ホラー。



一般書

琉球警察

伊藤 潤 著 (角川春樹事務所)

琉球警察名護警察署に配属され、公安担当になった東貞吉は、人民党の末端・島袋令秀を作業員(スパイ)に育てることに…。本土復帰前の沖縄を舞台に描くバイオレンス・ロマン。



豊山俳句クラブ 青山克己 選

つり橋をゆらりぐらりと夏帽子

高木須磨子

七夕やひらがなだけの願い事

山下敬太

切り株にどかと座りし夏帽子

田村多喜子

薄紫のぼんと弾けて花桔梗

坪井昭子

はまなすの沖を見つめる車椅子

東海林宗義

青天に夏わきあがる千枚田

杉浦みどり

小さくも辛味の強さ夏大根

水野眞弓

鬼灯を揺らして吾子の虫封じ

坪井径子

もどかしき通行止めや送り梅雨

谷崎 琴

戻り来てたたむ喪服の梅雨湿り

岡島 齋

懐かしい顔を見つけし宵祭

青山とも子

くるぶしに代田の水のなまめくるき

青山克己

豊山歌壇 水野笑子 選

「コンサートのチケット取る様にやる

のよ」と吾娘と三十分ワクチン予約

荒川昌枝

コロナ禍に家族旅行も儘ならずテラ

スで集ふ焼肉パーティー

中澤芳子

この電話最後とならむと胸迫り涙

流るる姉との会話

山田 米

梅雨入りして若芽出揃ふ梅の木

葉あひに隠れし青き実いくつ

橋爪しづ子

七十の終りに近づきしみじみと母の

百歳尊く思ふ

渡辺トヨ子

体力の衰へ感ずる梅雨寒にうら庭

の花群に励まされるる

自転車にて外出楽しき日は過ぎて

足萎えたればペダルも踏めず

小出寿枝

催しはすべて中止の町道をトラク

ター音田植を告げる

農婦としてトラクターに乗り代掻

きをせし過去は今夢のごとく遠し

柴田満枝

大樹覆ふ花は陽の色に煌めきて

凌霄花の謳歌する初夏

強烈に生き継ぐも良し凌霄花陽光

の色そのまま輝く

一柳千鶴子

編集後記

愛知県では10月1日から交通事故の被害軽減のため、自転車利用者等の乗車用ヘルメットの着用が努力義務になる。自転車の利用は適度な運動になり、二酸化炭素を排出しないため地球温暖化対策にもなるなど、子供から高齢者まで幅広く利用が増えている。しかし、電動アシスト機能や軽量素材の利用などの高性能化により速度が出るようになり、重大事故が増えている。ヘルメットの着用が増えれば重大事故は減るかもしれない。しかし、事故そのものが減るわけではないことに注意する必要がある。重大事故がヘルメットの保護でただの事故になるだけでは、事故が減ったとは言えない。また、ヘルメットが守るのは頭部だけで、他の部分は生身のままである。▼ヨーロッパの自転車大国であるオランダはヘルメットの着用率が低いにも関わらず、自転車に係る事故が少ない。理由は自転車に対する国民の文化的な理解があり、自転車交通教育の浸透や自転車専用道路などのインフラが整備されているからと言われている。日本では事故そのものを減らす環境整備はまだ十分とは言えない。ヘルメットの紐を締めるのはもちろんのこと、それ以外も締めていくことで、本当の交通安全を目指していきたい。